

～元気にさきますように～

園児がヒマワリの種まき！

6月1日午前10時30分、区立井草森公園(井草4丁目12番1号)内にある花壇で、近隣の保育園や幼稚園に通う約200人の園児が、ヒマワリの種まきを行いました。まいたヒマワリの種は、区の交流自治体である北海道名寄市から届けられたもので、7月下旬ごろから咲き始め、8月上旬に見頃を迎えます。

杉並区の北西にある井草森公園は、「花の名所」として区民から親しまれています。春はソメイヨシノや菜の花、夏はヒマワリ、そして秋はキバナコスモスなど、四季折々の景色を満喫することができます。

中でも、公園の花壇いっぱい咲く菜の花とヒマワリは、近隣の子どもたちが種まきを担っているため、毎年、地域の皆さんから見守られながら花を咲かせています。



1日午前10時30分、近隣の保育園や幼稚園に通う園児たち約200人が、公園内にある花壇にヒマワリの種をまきました。種まきに参加した園児たちは、それぞれ5粒ほどの種を受け取ると、公園の職員の説明を真剣な眼差しで聞きながら、小さな指で土に穴を開けて作業していました。

この日まいた種は、区の交流自治体である北海道名寄市から届いた「ビッグスマイル」という品種です。高さは1メートルに満たず、小さな子供が目の高さで楽しめるのが特徴です。名寄市は、市内各地でヒマワリを見ることができ、その面積は約60ヘクタール(東京ドーム13個分)、総本数は500万本を超えることから「ひまわりのまち」として知られています。井草森公園での種まきは、その美しく咲き誇るひまわりを、公園を訪れる方々にも見てもらおうと始まったものです。



種まきに参加した園児たちは、「ひまわりが元気にさいてほしいな。」「8月にぜひ見にくるからね。」と想いを込めながら一粒ずつ丁寧に植えていました。

ヒマワリは、7月下旬ごろから咲き始めて、8月上旬に見頃を迎える見込みです。今年も、公園を訪れる多くの方々の笑顔が満開になることでしょう。

【問い合わせ先】北公園緑地事務所：電話3396-5261

総務部広報課：電話3312-2111(代表)